佐賀県立九州陶磁文化館

令和5年度年報·資料目録No.43

Annual Report & Catalogue of Collections No.43 Kyushu Ceramic Museum 2023.4 ~ 2024.3

このたび、令和5年度の事業概要をまとめました。

令和5年度は、「新収蔵品展1 古伊万里から現代作まで」、「新収蔵品展2 古唐津とその周辺」、企画展「なんて書いてあると? 一お皿の裏話―」を開催しました。また10回にわたりやきものセミナーでやきものに関する知識や展覧会のみどころを解説し、多くのお客様に御好評を頂きました。

「有田国際陶磁展」など当館以外が主催する6つの展覧会では、陶芸文化の向上に貢献しました。

さらに全国各地から依頼された調査研究活動などへの協力にも対応 いたしました。

イベント・行事などでは夏休み子供向けイベントとしてオリジナル風 鈴やはしおき作り、クリスマスにはコンサートなど、年間を通して 12 の多彩なイベント・行事を開催し、小さなお子様からご年配の方ま で多くの年齢層のお客様に楽しんでいただきました。

コロナ禍がほぼ終息し、海外からのお客様も増え、多様な見識とサービスが求められる中、これまで以上に多くの皆様に御利用いただけるよう職員一同努力を重ね、各種事業について今後も一層の充実を務めてまいりますので、引き続き関係各位の御指導と御協力をお願い申し上げます。

佐賀県立九州陶磁文化館 館長 鈴田 由紀夫

目 次

はじめに・・・・		1
目 次		2
館の概要		
	設立の目的・活動の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	施設・設備の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	組織・職員・協議会委員・資料専門委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	佐賀県立博物館施設資料購入指針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
事業		
展示活動		
	1. 常設展 九州の陶磁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
	2. 企画展・テーマ展など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	3. 九州陶磁文化館やきものセミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
	4. 利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
館蔵資料等	等の貸出・閲覧・撮影など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
教育普及活	舌動	
	1. 展示案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
	2. イベント・行事など ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
	3. 印刷物等の刊行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
	4. 博物館実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41
	5. 講演など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41
調査研究剂	舌動	
	1. 調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	2. 調査協力・広報・研修など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	3. 依頼資料調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
資料収集剂	舌動	
	1. 陶磁資料の収集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
	2. 図書資料の収集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
佐賀県立	九州陶磁文化館資料目録 含和 5 年度	44

館の概要

設立の目的

佐賀県立九州陶磁文化館は、肥前陶磁をはじめ、各地域において独自の伝統を継承 発展させてきた九州の陶磁器に関し、その文化遺産の保存と陶芸文化の発展に寄与する 目的で設立されました。

そのため、歴史的、美術的、産業的にみて重要な資料を収集・保存・展示し、あわせ て調査研究や教育普及活動を行っています。当館は、九州の陶芸文化に関する総合的 施設の位置にあるばかりでなく、国際的にも注目される存在となることをめざしてい ます。

活動の目的

•展示活動

4つの展示室からなる常設展 九州の陶磁は、有田焼や九州の陶磁器の歴史と特色が順を追って把握できるように構成されています。 第1展示室(有田焼の歴史)から始まり、第2展示室(柴田夫妻コレクション)、第3展示室(九州の古陶磁)、さらに第4展示室(現代の九州陶芸)と続いています。

有田焼の歴史や文化を有田焼の名品とデジタル映像や展示空間で楽しむことができる第1展示室、江戸時代の有田磁器約千点を展示する柴田夫妻コレクションの第2展示室、九州各地の古陶磁を鑑賞する第3展示室、九州の現代陶芸を鑑賞する第4展示室というそれぞれの特色があります。

館の展示内容を外国人にもわかりやすいものに磨きあげ、有田焼をはじめとする本 県が誇るやきもの文化の魅力や価値を国内外に発信することを目的に第1展示室のリ ニューアルを行い、令和4年(2022年)4月9日にリニューアルオープンしました。

• 収集活動

国の内外を問わず、九州の陶磁に関して、体系的に資料(陶磁器・出土資料・古文書・古記録等)の調査収集を行っています。また、資料の充実を図るため、購入や寄贈の受入等にも努めています。

• 調査研究活動

九州の陶芸や陶磁産業を歴史的・総合的に明らかにするために、考古学・美術工芸史など様々な分野にわたる資料・文献の調査収集に努めています。また、学術講演会や国内外の機関との交流を通じて研究の進展を図っています。

・教育普及活動

展示案内等を行うことにより陶芸文化に対する理解を深め、さらに陶芸実習室を創作活動の場として提供するなど、広く陶芸文化に関する普及活動を行っています。



沿 革

```
昭和 48 (1973) . 1. 8
                 有田町長他、国際陶芸美術館建設について陳情
昭和 51 (1976) . 4
                 陶芸文化施設調査費を計上
   52 (1977) . 4
                 陶芸文化施設調査費を計上
   52 (1977) . 6
                 佐賀陶芸文化センター(仮称)建設計画案を作成
   52 (1977) . 11
                 基本設計委託をアルセッド建築研究所と契約
   52 (1977) . 11. 24 第1回佐賀県陶芸文化センター建設委員会開催
   52 (1977) . 12. 8 佐賀県陶芸文化センター建設促進協力会設立(会長 鍋島直紹)
   53 (1978) . 2. 28 基本設計完了
   53 (1978) . 3. 29 建設費関係予算決定(約19億円)
   53 (1978) . 4. 1
                専任職員3名を配置
   53 (1978) . 11. 15
                建設工事入札
   53 (1978) . 12. 20
                 設備工事入札
   53 (1978) . 12. 27
                用地譲渡契約締結(有田町より無償譲渡)
   54 (1979) . 1. 16
                起工式
   54 (1979) . 5. 11
               正式名称打合会(「西日本陶磁文化館」の案)
   54 (1979) . 7. 6
                 正式名称「佐賀県立九州陶磁文化館」と決定
   54 (1979) . 10. 3
                 外構・植栽工事入札
   55 (1980) . 3. 25
                佐賀県立九州陶磁文化館竣工(建設工事費:1,745,100千円)
   55 (1980) . 3. 27
               佐賀県立九州陶磁文化館条例・同管理規則等を公布
   55 (1980) . 11. 1
平成 元 (1989) . 6.12 染付鷺文三足大皿が重要文化財に指定
   5 (1993) . 3. 25
                 柴田夫妻コレクション展示室完成
   5 (1993) . 4. 29
                 柴田夫妻コレクション展示室が常設展の一室として開室
   6 (1994) . 4 . 1
                 旧窯業技術センター跡地(12,011.00 m²)を当館敷地として所管換
   12 (2000) . 2. 22 玄関自動ドア設置
   12 (2000) . 12. 4
                染付山水文輪花大皿が重要文化財に指定
   12 (2000) . 12. 28 有田焼からくり時計設置
   14 (2002) . 3. 20 来館者用トイレ改修・増設
   18 (2006) . 3.31 有田磁器(柴田夫妻コレクション) 10,311 点が国登録有形文化財
                 (美術工芸品) に登録
   26 (2014) . 3. 31
                防犯カメラ改修・新設
   27 (2015) . 3. 16
                身障者駐車場屋根設置
   27 (2015) . 3. 16
                 収蔵庫棚新設
   27 (2015) . 3. 20
                 館内 Wi-Fi 環境整備
   30 (2018) . 10. 4
                 来館者用トイレ改修(洋式化等)
   31 (2019) . 1. 21 非常用発電機更新
   31 (2019) . 3.27 大韓民国国立光州博物館との学術交流協定締結
令和 2 (2020) . 11. 1
                 開館 40 周年
   3 (2021) . 3. 19 荷物用エレベーター (1号機) 及び乗用エレベーター (2号機) 更新
   4 (2022) . 3. 28 グローバル化推進事業 (常設展示リニューアル等)
   4 (2022) . 4. 9
                 常設展示(有田焼の歴史)等を更新し、リニューアルオープン
   6 (2024) . 3. 4 乗用エレベーター (3 号機) 更新
```

施設・設備の概要

所 在 地 佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1

設計管理 内田祥哉+アルセッド建築研究所

施工業者 (1) 建築・外構…住友建設・松尾建設共同企業体

(2) 設備工事·電気設備…新生電業·宮園電気共同企業体

(3) 空調設備…丸紅設備・昭栄設備工業共同企業体

(4)給排水設備…葉隠設備工業(株)

(5) 植栽…中村永楽造園土木(株)

工 期 昭和54年(1979年)1月16日~昭和55年(1980年)3月25日

規 模 (1)敷地面積:43,619.59 m²

(2) 建築面積: 3,831.93 m²

(3)延床面積: 6,526.54 m²

(4) 構 造: 鉄筋コンクリート造地上2階、一部3階建

主要設備 (1)電気設備

設備容量:350 KVA (6,600V 受電) 発電機:125 KVA (220V)

(2) 空調設備

冷暖房:吸収冷温水機(能力544,320.0 kcal/h)平成6年施工 その他:防排煙連動操作設備(防火シャッター、排煙ファン)等

(3) 給排水設備

給水設備:町水道使用、受入槽30t(15t 2基)

排水設備:町公共下水道

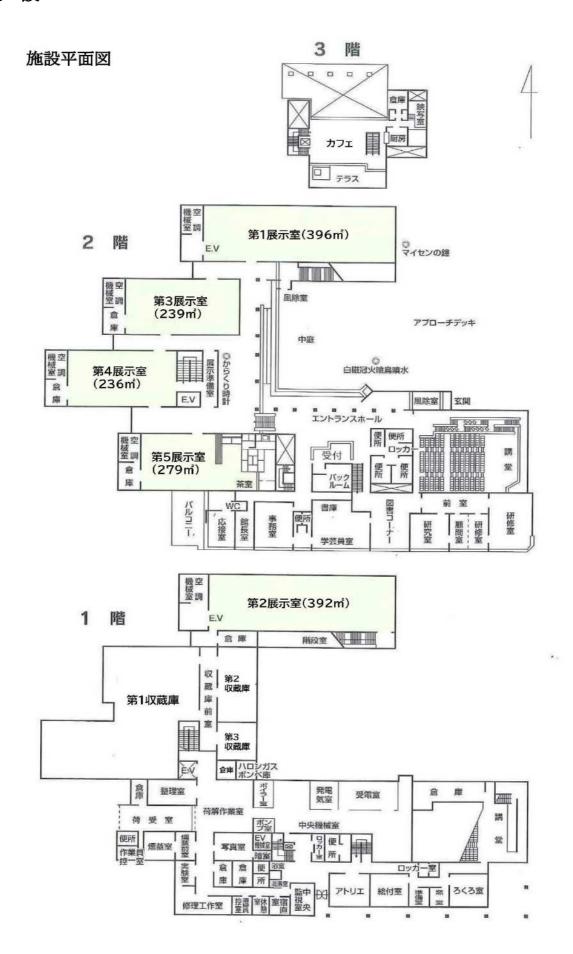
消火設備:屋内消火槽、ハロンガス消火設備等

その他:給湯設備、身障者便所等

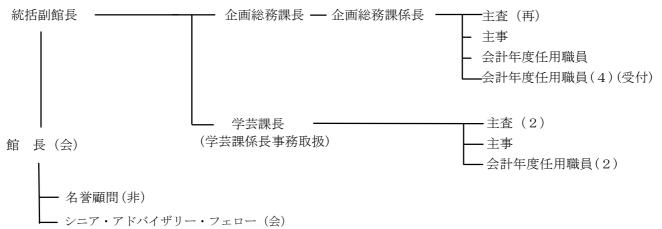
部門	室 名	室数	面積		部門	室 名	室数	面積
	第 1 展 示 室	1	396. 26			研 究 室	1	54. 58
	第 2 展 示 室	1	392. 13		<i>T</i>	実 験 室	1	19. 21
	第 3 展 示 室	1	239. 54		研究施設	そ の 他	1	56.05
展示施設	第 4 展 示 室	1	236. 95			小 計		129. 84
	第 5 展 示 室	1	279. 56			機機整		355. 69
	展示準備室・倉庫	1	169. 70	管理施設	事 務 室 等		553. 99	
	小 計		1, 714. 14			小 計		909. 68
	第 1 収 蔵 庫	1	532. 68			展示ホール		406.73
	第 2 収 蔵 庫	1	105. 50			エントランスホール		284. 15
収蔵施設	第 3 収 蔵 庫	1	52. 44		共通施設	そ の 他		868. 61
	そ の 他	1	553. 80					
	小 計		1, 244. 42			小 計		1, 559. 49
	講堂	1	385. 49					
	陶芸実習室	4	122. 38					
研修施設	一般研修室	2	203. 76					
	図書コーナー	1	102. 49					
	その他		154. 85					
	小 計		968. 97			合 計		6, 526. 54

〔単位: m²〕

施設



組織



※ (非) は非常勤職員 (再) は再任用職員 (会) は会計年度任用職員

職員

職名	氏 名	事 務 分 掌
館長	鈴田 由紀夫	館の代表
名誉顧問	大橋 康二	館運営の専門的見地からの助言
統括副館長	加藤英治	館の総括
シニア・アドバイ ザリー・フェロー	德永 貞紹	資料調査・研究、展示・普及等に関する指導・助言及び学芸 員の育成、国際化の推進等
企画総務課長	福田 直美	課の総括
企画総務課係長	大久保 清人	係の総括、企画・広報、予算・決算、 特別企画展等関連イベント
主査(再)	久保田 正久	広報、予算執行(報酬・賃金、需用費、備品等)、 施設・財産管理(使用許可、植栽管理、備品)
主事	野田有佐	予算執行(庁舎維持管理等)、収入、職員給与、旅費、 施設・財産管理(使用許可、植栽管理、備品を除く)
会計年度任用職員	前田 千賀	普及啓発事務、図録グッズ販売管理、予算執行(共通経費、 費用弁償等)
会計年度任用職員	仲出川 愛	受付・窓口業務、通販発送、入館者統計、図録等の在庫集計 等
会計年度任用職員	朝長 幸子	n .
会計年度任用職員	杉原 由美子	n .
会計年度任用職員	山口 佐知	n .
学芸課長	藤原 友子	課の総括、資料調査・研究・収集・管理・普及・展示(特別 企画展等)
主査	芳野 貴典	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示(特別企画展等)
主査	宮木 貴史	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示(特別企画展等)
主事	巖 由季子	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示(特別企画展等)
会計年度任用職員 (学芸員)	前田 小百合	館内・展示説明業務、学芸課業務補助、図書の整理・管理等
会計年度任用職員 (英語対応)	川内野 啓子	出版物・展示キャプションなどの翻訳、英語での展示案内等

令和6年(2024年)3月31日現在

協議会委員(任期:令和5年(2023年)6月23日~令和7年(2025年)6月22日)

氏 名	役 職 名
青木 宏文	佐賀新聞伊万里・有田支局長
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長
蒲地 桃子	有田商工会議所副会頭
小林 知美	筑紫女学園大学准教授
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会会長
富田 紗貴	元有田町地域おこし協力隊(公募委員)
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長
古川 宗里	茶道裏千家淡交会佐賀支部幹事長
松尾 佳昭	有田町長
武藤 明美	佐賀県議会議員
村上 伸之	有田町歴史民俗資料館館長
藤田 荘子	西有田中学校教諭
古川 朋子	有田町婦人会会員
松尾 あずさ	有田中学校PTA母親部長

令和6年(2024年)3月31日現在

資料専門委員(任期:令和5年(2023年)9月1日~令和7年(2025年)8月31日)

氏 名	役 職 名			
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長			
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会会長			
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長			
福原 透	元 八代市立博物館未来の森ミュージアム副館長			

令和6年(2024年)3月31日現在

佐賀県立博物館施設資料購入指針

(趣旨)

第1条 この指針は、規則その他規程に定めがあるものを除き、佐賀県立博物館・美術館、佐賀県立九州陶 磁文化館、佐賀県立名護屋城博物館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館(以下「各館」という。)の資料購入を 行うための、必要な事項を定めるものとする。

(資料収集調整委員会)

第2条 各館の購入資料は、すべて別途定める「佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会(以下「委員会」 という。)」において、選定するものとする。

(資料購入費の配分)

- 第3条 委員会事務局は、各館の購入実績等を踏まえ、事前に資料購入費の一応の目安額となる配分額を示すものとし、その調整は委員会において行うこととする。
- 2 購入資料の選定後、文化課は各館からの申請により資料購入費を再配当する。

(購入予定資料の評価)

第4条 委員会で選定した購入資料のうち、一件の購入予定価格が400万円以上のものについては、当該 資料と直接利害関係を有しない複数の学識経験者等に意見を求めるものとする。また、購入予定価格の如 何を問わず、評価が困難なものについても同様の取扱とし、適正な評価に努めなければならない。

(購入の取りやめ)

第5条 前条の評価の結果、購入が適当でない場合や市場の変化等により購入が不可能となった場合の購入 とりやめの判断は各館の館長が行うものとする。なお、その際は委員会事務局へ速やかに報告することと する。

(資料の購入先)

第6条 資料購入先は、同一業者に偏向しないように配慮する。なお、原則として、年に1,000万円以上の取引が過去3ケ年以上継続した業者からの購入は1年間見合わせる。

附則

(適用期日)

1 この指針は、平成24年5月9日から適用する。

(趣旨)

第1条 この規程は、佐賀県立九州陶磁文化館(以下「陶磁文化館」という。)が陶磁文化館資料(佐賀県財務規則(平成4年佐賀県規則第35号。以下「財務規則」という。)第143条第2項の規定による物品分類表中博物館資料に分類される物品をいい、以下「資料」という。)の購入、寄贈、寄託、一時預り、貸出し、公開等を行う場合における資料の管理・保管の方法について、財務規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

(資料の分類)

第2条 資料の分類は、別表1の分類により整理するものとする。

(資料の購入)

- 第3条 陶磁文化館で購入する資料は、すべて佐賀県立九州陶磁文化館資料専門委員会(以下「資料専門委員会」という。)で選定し、佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会(以下「調整委員会」という。)に おいて決定するものとする。
- 2 陶磁文化館の常勤の館長又は統括副館長(以下「常勤館長等」という。)は、調整委員会で購入を決定した資料のうち1件あたりの購入予定額が400万円以上のものについては、専門委員会の委員から評価調書(別記様式第1号)により意見を求めるものとする。また、資料価値の算定が困難な資料については、購入予定額の如何にかかわらず、必要に応じて学識経験者等から意見を求め、適正な評価に努めなければならない。
- 3 常勤館長等は、前項の規定による評価の結果により購入を取り止めようとする場合又は購入が不可能と 判断した場合は、不購入の決定を行うものとする。この場合は、調整委員会へ速やかにその旨を報告する ものとする。

(資料の寄贈)

- 第4条 陶磁文化館に資料を寄贈しようとする者は、資料寄贈申込書(別記様式第2号)により申し込まなければならない。
- 2 常勤館長等は、前項の規定により申込みのあった資料について必要に応じて資料専門委員会に諮るなどの措置を講じ、陶磁文化館で所蔵することが適当と認めるものについては、寄贈資料受納調書(別記様式第3号)を作成し、受納を決定するものとする。この場合において、1件あたりの時価見積額が400万円以上の資料については、資料専門委員会の委員等による選定・評価を受けなければならない。
- 3 前項の規定により受納を決定した場合は、寄贈者に対し寄贈資料受納書(別記様式第4号)を送付する ものとする。

(資料の寄託及び一時預り等)

- 第5条 陶磁文化館に資料を寄託(1年以上の期限を定めた寄託に限る。) しようとする者は、資料寄託申 込書(別記様式第5号) により申し込まなければならない。
- 2 陶磁文化館が資料の寄託又は出品を所有者に依頼するときは、資料寄託・出品承諾書(別記様式第6号) 又はこれに準ずる承諾書により所有者の承諾を得なければならない。
- 3 寄託の申し込みのあった資料で常勤館長等が認めたもの又は寄託の承諾を得た資料については、寄託資料受入調書(別記様式第7号)を作成し、受入れを決定するものとする。

- 4 前項の規定により寄託の受入れを決定したときは、資料寄託契約書(別記様式第8号)により契約を締結した後、寄託資料台帳(別記様式第9号)にその旨を登載するものとする。
- 5 展覧会への出品及び研究等のため短期間資料を預かるときは、出品者又は所有者に対し、資料一時預り証(別記様式第10号)を発行するとともに、一時預り資料台帳(別記様式第11号)にその旨を登載するものとする。ただし、企画展のための一時預りについてはこの限りではない。
- 6 埋蔵文化財(出土品)等所有権が確認できない資料について、現にその資料を管理している者から寄託 及び出品の申し込みがあった場合又は同人に依頼する場合の手続については、当該管理している者を所有 者とみなして前各項の規定を適用する。
- 7 佐賀県出土の埋蔵文化財のうち、国の保有する重要文化財等を1年以上継続して借用する場合は、第4 項及び第5項の規定にかかわらず、国保有重要文化財等借用台帳(別記様式第12号)にその旨を登載す る。

(資料の整理)

- 第6条 第3条及び第4条の規定により受け入れた資料は、当該資料一件ごとに資料カード(別記様式第13号)を作成し、整理しなければならない。
- 2 前項の資料には、資料ラベル(別記様式第14号)を貼付し、又は紐付けをして整理しなければならない。ただし、貼付し、又は紐付けすることが困難なときは、マーキングを施す等の適当な方法により整理するものとする。
- 3 前条第4項に規定する寄託資料及び前条第7項の国保有重要文化財等については、前2項の規定を適用 する。この場合において、前2項に規定する様式については、すべて赤枠で表示し区別するものとする。

(資料の貸出し)

- 第7条 資料の貸出しは、原則として行わないものとする。ただし、教育、学術及び文化に関する機関、団 体等が行う展示会に貸し出す場合で、資料の保管について十分な管理体制がとられると認められるときは、 業務に支障がない場合に限り、常勤館長等が貸出しを許可することができる。
- 2 前項ただし書きの規定により貸出しを受けようとする者は、資料借用申請書(別記様式第15号)又は これに準ずる申請書を提出しなければならない。この場合において、貸出しを受けようとする資料が寄託 品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者(第5条第6項に規定する場合は、当該 資料を管理している者。第8条第2項において同じ。)の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
- 3 常勤館長等は、前項の申請により貸出しを許可したときは、資料貸出台帳(別記様式第16号)にその 旨を登載し、申請者に対し資料貸出許可書(別記様式第17号)を交付するものとする。また、貸出しに 際しては、借受人から借用書を提出させるものとする。
- 4 資料の貸出しを行なう場合又は返納を受ける場合は、物品出納員並びに担当学芸員が立会し、受渡し又は受取りを行うものとする。この場合において、資料に破損、汚損又は亡失があったときは、常勤館長等は借受人に対し必要な指示をするとともに損害の賠償を請求するものとする。

(資料の公開・特別利用)

第8条 資料の公開は、陶磁文化館が主催して展示を行うとき又は前条の規定により貸出すとき以外には行わない。ただし、学術上の調査研究、文化振興等の目的で資料の閲覧、撮影、フィルム等画像原稿借用、印刷物・電子媒体

等での画像使用、複製等(以下「特別利用」という。)を求められたときは、資料の保存及び業務に支障がない場合に限り、常勤館長等は条件を付してその利用を許可することができる。

- 2 前項ただし書きの規定により許可を得ようとする者は、資料特別利用許可申請書(別記様式第18号) 又はこれに準ずる申請書を提出しなければならない。この場合において、許可を得ようとする資料が寄託 品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者の承諾書又はその写しを添付しなければ ならない。
- 3 常勤館長等は、前項の申請により特別利用を許可したときは、資料特別利用許可簿(別記様式第19号) にその旨を登載し、当該申請者に資料特別利用許可書(別記様式第20号)を交付するものとする。
- 4 資料の閲覧、撮影等実物の取扱を伴う特別利用は、担当学芸員の立会いのもとで行い、その指示に従わなければならない。
- 5 印刷物掲載等の画像使用を行った場合は、利用後速やかに成果品を常勤館長等に提出しなければならない。電子媒体による出版又は放送等で映像を使用した場合もこれに準ずる。

(補足)

第9条 この規定に定めるもののほか、資料の取扱いについて必要な事項は、別に常勤館長等が定める。

附則

この規程は、昭和61年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月1日から施行する。

附則

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附即

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和3年5月12日から施行する。

佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、佐賀県立九州陶磁文化館の施設及び附属設備(以下「施設等」という。)の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(使用の申込み)

- 第2条 施設等の使用をしようとする者は、使用日の1月前までに、九州陶磁文化館施設等使用申込書(以下「申込書」という。)(様式第1号)を九州陶磁文化館の統括副館長に提出しなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、統括副館長が特に認めた場合は、申込期限を経過しても申込書を提出することができる。

(使用の承認等)

- 第3条 統括副館長は、申込書を提出した者に対し、 施設等の使用を認める場合は、九州陶磁文化館施 設等使用承認書(様式第2号)を交付するものと する。
- 2 統括副館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を承認しないものとする。
- 一 営利を主たる目的とするとき。
- 二 館内の秩序を乱すおそれがあるとき。
- 三 館の資料及び施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- 四 集団的又は常習的に暴力的行為を行うおそれがある組織の利益になると認められると き。
- 五 その他管理上支障があると認められるとき。

(使用目的の変更等の禁止)

第4条 前条第1項の規定により使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用目的を変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは他に転貸することができない。

(使用者の義務)

- 第5条 使用者は、使用に当たり次の各号に掲げる 事項を守らなければならない。
- 一 定員を超えて入場させないこと。
- 二 使用目的以外の物品の販売若しくは陳列又 は公告物の掲示若しくは配布をしないこと。
- 三 館の資料及び施設等を毀損しないこと。
- 四 その他統括副館長及び職員(以下「統括副 館 長等」という。)常勤副館長等の指示に従うこと。

(使用承認の取消し等)

- 第6条 統括副館長は、使用者が次の各号のいずれ かに該当する場合は、使用の承認を取り消し、又 は使用の中止を命ずることができる。
- 一 申込書の内容に偽りがあった場合
- 二 その使用が第3条第2項各号のいずれかに 該当することが明らかとなった場合

- 三 前二条の規定に違反した場合
- 2 前項の規定により使用の承認を取り消され、又 は使用の中止を命ぜられたことにより使用者に 損害を生ずることがあっても、これに対する補償 は行わないものとする。

(弁償)

- 第7条 使用者は、施設等の使用において資料又は 施設等を亡失し、破損し、又は汚損したときは、 統括副館長等の指示に従い、現品又は相当の対価 をもって弁償しなければならない。
- 2 使用者は、使用目的である講演、会議、交流会 その他の会合に参加している者が前項に掲げる 行為を行った場合についても、統括副館長等の指 示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しな ければならない。

(光熱水費の負担)

- 第8条 統括副館長は、使用者が使用に際して相当 の電気又は水道等の使用を伴う場合は、当該使用 の目的及び使用実態等を勘案して、当該使用者に 対して相当の光熱水費の負担を求めるものとす
- 2 使用者は、前項の規定により、統括副館長から 光熱水費の負担を求められた場合は、指示された 期限までに納入しなければならない。

(収益等を伴う場合の取扱い)

第9条 施設等を使用する際に、収益を伴う使用及び観覧料等を徴する使用の場合については、この要領にかかわらず佐賀県公有財産規則(昭和40年佐賀県規則第6号)第19条及び第20条の規定に基づき処理するものとする。

附 則

この要領は、平成20年11月1日から施行する。 附則

この要領は、平成22年1月1日から施行する。

この要領は、平成25年4月1日から施行する。 附則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

この要領は、令和3年6月1日から施行する。

この要領は、令和6年6月1日から施行する

- 様式第1号 九州陶磁文化館施設等使用申込書 (略)
- 様式第2号 九州陶磁文化館施設等使用承認書 (略)

展示活動

1. 常設展 九州の陶磁

当館の常設展は4つの展示室からなり、九州陶磁の歴史と特色が、順を追って把握できるように構成されています。 第1展示室は、展示内容を外国人にもわかりやすいものに磨き上げることにより、有田焼をはじめとする本県が誇るや きもの文化の魅力や価値を国内外に発信することを目的にリニューアルしました。

順路は第1展示室(有田焼の歴史)から始まり、第2展示室(柴田夫妻コレクション)、第3展示室(九州の古陶磁)を経由して第4展示室(現代の九州陶芸)で終わります。内容は、有田焼の歴史を映像や実物をもって知る第1展示室、江戸時代の有田磁器を展示した柴田夫妻コレクションの第2展示室、九州の古陶磁を鑑賞する第3展示室、九州の現代陶芸を鑑賞する第4展示室となり、それぞれ特色があります。

規模の大きな企画展が開かれる場合は、第1、第2展示室を除いて他の2室は一時的に撤収しています。

展示室 第1展示室(有田焼の歴史) 第2展示室(柴田夫妻コレクション) 第3展示室(九州の古陶磁) 第4展示室及び展示ホール(現代の九州陶芸)



第1展示室 日本磁器の完成

(1) 有田焼の歴史(第1展示室)

この展示室では、有田焼の歴史を主題として、その誕生から技術改良と確立、近代化等、各テーマの小部屋を巡ることで有田焼のストーリーを体感することができます。各テーマを象徴する有田焼の名品を展示し、映像や空間とを組み合わせて紹介しています。また、有田焼の歴史を鑑賞した後は、有田焼を通してやきものに関心をもってもらえるように、さらに4つのテーマを設定しています。文様を選んで自分だけの有田焼をデザインできる「MY ARITA」コーナーでは、デザインした皿といっしょに写真を撮ることもできます。

令和 5 年 3 月にはリニューアル後の内容をまとめた展示ガイドブック『有田焼の歴史~磁器が語る 奇跡のストーリー~』を刊行しています。また、令和 6 年 3 月には展示ガイドブックの英語版『History of Arita Ware ~ A Miraculous Story Told in Porcelain ~』も刊行しました。

なお、江戸時代に海外輸出された有田焼の蒲原コレクション 101 点は、この展示室で御覧になれます。

【展示内容】

- 1. 日本磁器の誕生
- 2. 技術の革新
- 3. 日本磁器の完成
- 4. 海を渡る
- 5. 暮らしを彩る
- 6. 新時代の幕開け
- 7. 今とこれから

「テーマ展示]

有田焼ができるまで 有田焼 Q&A やきもの産地マップ 有田焼のデザイン



第1展示室 新時代の幕開け

(2) 柴田夫妻コレクション (第2展示室)

平成2年(1990年)から同15年(2003年)にかけて柴田明彦・祐子夫妻から御寄贈いただいた江戸時代の有田磁器10,311点のうち493件950点を常設展示しています。

このコレクションの特徴は、有田磁器の歴史的変遷がわかるように各時代の様々な種類の作品が網羅されている点にあります。

この展示室では次のようなコーナーを設けて、有田磁器の様式の特徴、技術の変化、器種別の変遷などを紹介しています。

令和5年度は柴田夫妻ゆかりの器や年代による変遷のコーナーを中心に展示替えを行いました。

【コーナー】

- 1. 柴田夫妻コレクション
- 2. 年代による変遷
- 3. 江戸時代の食膳
- 4. 種類
- 5. 成形·装飾
- 6. 手塩皿
- 7. 銘
- 8. 芙蓉手皿
- 9. 出土陶片との比較



コーナー3. 江戸時代の食膳



コーナー9. 出土陶片との比較

(3) 九州の古陶磁(第3展示室)

常設展「九州の古陶磁」は、佐賀・長崎・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄各県の主に江戸時代の陶磁器を紹介しています。

唐津焼に始まる肥前の陶磁器は、日本初の磁器を産み出した後、その発展にともない初期伊万里様式、柿右衛門様式、 鍋島様式など様々な様式を産み出してきました。

また、九州各県に点在する茶陶の名窯や日常生活の中で愛された民窯では、地域色豊かな陶器や磁器が焼かれています。 展示総数は館蔵品を中心に 101 件 134 点です。

(4) 現代の九州陶芸(第4展示室)

歴史的に多様な展開がみられる九州の陶芸は、それぞれ茶陶として、また芸術性の高い美術工芸品として、あるいは民陶として今日に受け継がれています。

こうしたなかで、創作的な活動を続けている陶芸作家を選び、その代表作を一堂に紹介したのが第4展示室の「現代の九州陶芸」です。現在、九州5県の93名による作品を展示しています。県別では佐賀県が最も多く、福岡県、鹿児島県の順で続いています。

展示室では、日本工芸会に所属している作家作品、さらに日展系・民陶系などの作家作品を御覧になれます。また水指・茶入など茶道具関連の作品も鑑賞できます。なお、日本芸術院会員や重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品は展示ホール(有田焼からくりオルゴール時計横)に展示しています。伝統的な陶芸技術を駆使した作品から、従来の陶芸技術とはおもむきの異なる前衛的な作品までが展示され、陶芸文化の多様性が示されています。

※次の期間は特別企画展等のため展示中止(4月18日~5月14日、9月13日~12月5日)

【現代の九州陶芸 展示目録】令和 5 年(2023 年)4 月 1 日~4 月 16 日、5 月 16 日~9 月 13 日、12 月 6 日~3 月 31 日 展示総数 : 93 件 94 点

50 音順

0 音順						
No.	氏名	県名	作品名	製作年	出品・入賞	所属
1	青木昌勝	佐賀県	氷青磁鉢	令和 3 年(2021)	第 55 回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
2	青木龍山	佐賀県	天目 「悠」	平成3年 (1991)	第 23 回日展出品作 館蔵	日展
3	荒木秀樹	鹿児島県	苗代川白紅彩鉢	平成 14 年(2002)	第 49 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
4	有山禮石	鹿児島県	黒陶	令和 4 年(2022)	第 68 回県美展会員の部優秀賞	日展
5	石添秀正	長崎県	「凛華の空」	令和 2 年(2020)	改組新第7回日展出品作	日展
6	石橋國男	佐賀県	浜辺	平成 30 年(2018)	平成 30 年名護屋城博物館 酔陶会展出 品作	日展
7	石原祥嗣	福岡県	黒地金彩直弧文陶箱	平成 21 年(2009)	第 106 回九州山口陶磁展文部科学大臣 賞 館蔵	日本工芸会
8	井上俊一	福岡県	黒地金銀彩延石文扁壷	平成 22 年(2010)		無所属
9	井上泰秋	熊本県	小代肩衝水指 銘「流星」	平成 29 年(2017)		民陶
10	井上萬二	佐賀県	白磁花形花器	昭和 54 年(1979)	館蔵	日本工芸会
11	14 代今泉今右衛門	佐賀県	色絵薄墨墨はじき雪文鉢	平成 24 年(2012)	館蔵	日本工芸会
12	今村博	佐賀県	流映	令和 3 年(2021)		日展
13	岩田義實	佐賀県	切り取られた風景	令和 2 年(2020)		無所属
14	浦郷好文	佐賀県	夏・蓮華	令和 2 年(2020)	第 70 回佐賀県美術展覧会	日展
15	江口勝美	佐賀県	和紙染刳抜更紗軸筥	平成9年(1997)	館蔵	日本工芸会
16	太田孝宏	福岡県	飴釉白掛け鉢	平成 22 年(2010)		民陶
17	太田秀隆	福岡県	藁灰釉彩泥鉢	平成 22 年(2010)		日本工芸会
18	大橋裕	佐賀県	唐津搔落し姫木蓮鉢	令和 5 年(2023)		無所属
19	大村就康	福岡県	白釉香炉	令和 3 年(2021)		日本工芸会
20	大宅利秋	佐賀県	陶花	令和 3 年(2021)	第 117 回有田国際陶磁展入選作品	日展
21	岡本作礼	佐賀県	唐津叩き焼〆壷	令和元年(2019)		無所属
22	小川善光	佐賀県	みなも	平成 30 年(2018)	第 31 回現代工芸九州会展出品作	日展
23	奥川俊右衛門	佐賀県	白磁花瓶	令和元年(2019)		日本工芸会
24	甲斐一	福岡県	鉄釉窯変花器	令和 3 年(2021)	第 76 回福岡県展会員の部出品作	日本工芸会
25	梶原茂正	佐賀県	月白釉縞文様壷	令和 4 年(2022)		日本工芸会
26	勝田文博	佐賀県	和紙染紫陽花文花器	令和 3 年(2021)	第 55 回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
27	亀井楽山	福岡県	髙取白釉七宝透し平水指	令和元年(2019)		日本工芸会
28	河口純一	佐賀県	釉裏彩華文花器	平成 30 年(2018)	西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
29	川崎精一	佐賀県	月下美人陰刻花器	平成 26 年(2014)	第 61 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
30	川添貞秀	長崎県	青白磁鎬彫壷	平成 31 年(2019)	西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
31	神田和弘	鹿児島県	集い	平成 24 年(2012)	第 109 回九州山口陶磁展文部科学大臣 賞 館蔵	無所属
32	久保田烈工	熊本県	青白磁彫文器	令和 5 年(2023)		日本工芸会
33	久保満義	鹿児島県	予言	令和 5 年(2023)	第 34 回現代工芸美術九州会展	日展

34	熊谷無造	福岡県	絵上野茶碗	平成 20 年(2008)		日本工芸会
35	熊本義泰	佐賀県	翠青磁バンビ蓋小壺	令和 4 年(2022)		日本工芸会
36	高鶴元	福岡県	彩釉割高台茶碗	令和 2 年(2020)		無所属
37	高鶴淳一	福岡県	灰釉彫文沓茶碗	平成 9 年(1997)	館蔵	無所属
38	五嶋竜也	熊本県	白磁鉢	令和 5 年(2023)	第 57 回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
39	厚東孝治	鹿児島県	弥生-邑の碑	平成 13 年(2001)	第 33 回日展姉妹作品 館蔵	日展
40	14 代酒井田柿右衛門	佐賀県	濁手撫子文大皿	平成 10 年(1998)	館蔵	日本工芸会
41	15 代酒井田柿右衛門	佐賀県	濁手葡萄文皿	令和 3 年(2021)		日本工芸会
42	坂本義弘	佐賀県	布染葉文花器	平成 20 年(2008)	館蔵	日本工芸会
43	佐々木厚	福岡県	陶壷-2018	平成 30 年(2018)		無所属
44	貞松善次	佐賀県	晨	平成 22 年(2010)	第 42 回日展入選作	日展
45	嶋田敏生	佐賀県	連作ノアの方舟	平成 5 年(1993)	第 90 回九州山口陶磁展文部大臣奨励賞 館蔵	無所属
46	庄村健	佐賀県	紅染深鉢	昭和 63 年(1988)	第 85 回 九州山口陶磁展文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
47	庄村久喜	佐賀県	白妙彩磁壺	平成 30 年(2018)		日本工芸会
48	白武初芳	佐賀県	望郷-2022	令和 4 年(2022)	第 44 回日本新工芸展出品作	日展
49	世良彰彦	福岡県	彩華"翔"	平成 20 年(2008)	第 40 回日展出品作	日展
50	添田和信	福岡県	黒地灰釉五稜壷	令和 3 年(2021)		日本工芸会
51	高木清次	長崎県	水指「森の詩」	平成 16 年(2004)	日本新工芸展出品作	日展
52	髙田さとこ	鹿児島県	春霞-15·B	平成 27 年(2015)	第 33 回南日本女流美術展委嘱作家出品作	日展
53	13 代髙取八山	福岡県	髙取重ね茶碗	令和 2 年(2020)		無所属
54	髙森誠司	佐賀県	萌葱青磁鉢	令和 4 年(2022)		日本工芸会
55	立井清人	長崎県	埋め込み大鉢	平成 19 年(2007)	第 104 回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
56	田中忍	佐賀県	白い夏-Ⅷ	平成 22 年(2010)	第 107 回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵	日展
57	15 代沈壽官	鹿児島県	薩摩朝顔香爐	令和 2 年(2020)		無所属
58	津金日人夢	熊本県	青磁花瓶	令和 2 年(2020)		日本工芸会
59	辻聡彦	佐賀県	「波立つ」	平成 14 年(2002)	第 99 回九州山口陶磁展文部科学大臣奨励賞 館蔵	日展
60	寺﨑康子	佐賀県	軌跡	令和元年(2019)	改組新第6回日展出品作	日展
61	照井一玄	佐賀県	色絵磁器壺「装うIV」	令和 3 年(2021)		日展
62	德澤守俊	福岡県	朝鮮唐津花器	平成 28 年(2016)	第 38 回田部美術館大賞 茶の湯の造形展出品作	日本工芸会
63	中尾純	佐賀県	白磁面取線彫花器	令和元年(2019)		日本工芸会
64	中尾恭純	佐賀県	白磁波文壺	昭和 53 年(1978)	第 27 回佐賀県美術展(県展)工芸 文部大臣奨励賞県展賞 館蔵	日本工芸会
65	中尾龍純	佐賀県	染付三色彩桜宝彫七宝文 様壺	令和 3 年(2021)		日本工芸会
66	14 代中里太郎右衛門	佐賀県	叩き青唐津壺	令和 2 年(2020)		日本工芸会
67	中里逢庵	佐賀県	叩き唐津三島象嵌瓶 「澤」	昭和 62 年(1987)	第 19 回日展出品作 館藏	日展
68	中島宏	佐賀県	青瓷線彫文壺	平成 21 年(2009)	館蔵	日本工芸会
69	中島康夫	佐賀県	2 0 0 4 - 3	平成 16 年(2004)	第 101 回九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日展
70	中村ゑ美こ	佐賀県	和紙染鉢	平成 30 年(2018)		日本工芸会
71	中村清吾	佐賀県	白磁鉢	平成 25 年(2013)	第 110 回九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会

72	中村慎	佐賀県	爽風	平成 25 年(2013)	第 45 回日展出品作	日展
73	西山正	佐賀県	青白磁千段深鉢	平成 7年(1995)	第 92 回九州山口陶磁展文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
74	野中拓	佐賀県	天目 桜紋皿	令和 4 年(2022)		日本工芸会
75	馬場九洲夫	佐賀県	朝霞	令和 4 年(2022)	第9回日展出品作	日展
76	福島清海	佐賀県	連山	平成 23 年(2011)	第 28 回日本新工芸展出品作	日展
77	福吉浩一	熊本県	炭化線象嵌鎬陶筥「さざ波」	令和 4 年(2022)	第 69 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
78	藤井剛	佐賀県	氷山	平成 11 年(1999)	第 30 回日展出品作	日展
79	藤ノ木土平	佐賀県	唐津灰被「風の踊り子」四 方壺	令和 4 年(2022)		無所属
80	前田泰昭	佐賀県	焱	令和 4 年(2002)	第9回日展出品作	日展
81	松尾勝也	佐賀県	艶釉彩深鉢「創」	令和元年(2019)	第 66 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
82	松尾潤	佐賀県	青瓷壷	平成 30 年(2018)	第 65 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
83	松本浩	佐賀県	彫文花器	平成 28 年(2016)		日本工芸会
84	丸田延親	佐賀県	夕暮れ	平成 30 年(2018)	第 57 回日本現代工芸美術展出品作	日展
85	溝上藻風	佐賀県	唐津石はぜ茶盌	令和 5 年(2023)		日展
86	宮尾正隆	佐賀県	水辺の葦	令和 2 年(2020)		日展
87	宮崎祐輔	佐賀県	白金銀彩シルクロード文角 皿	令和 4 年(2022)	第 69 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
88	百田暁生	佐賀県	黄瓷花入	令和 3 年(2021)		日本工芸会
89	矢鋪與左衛門	佐賀県	白磁篆刻文蓋物	昭和 58 年(2023)	第 33 回県展出品作	日本工芸会
90	山口文彦	佐賀県	青白磁線文壺	令和元年(2019)	第 66 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
91	山口幹彦	佐賀県	白磁八角面取壷	平成 30 年(2018)		日本工芸会
92	山口春右衛門	長崎県	白磁輪花大壷	平成 12 年(2000)	第 63 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
93	六平	佐賀県	白磁鉢	令和 2 年(2020)	第 67 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会

所属別	構成	県別	構成		
日本工芸会	50 名	佐賀県	61名		
日展系	29 名	福岡県	15 名		
民陶系	2名	鹿児島県	7名		
無所属	12 名	長崎県	5名		
計 93名		熊本県	5名		
		計	93 名		

[現代の九州陶芸] 展示作品より



1 氷青磁鉢 青木昌勝 2021 年 佐賀県 第 55 回西部伝統工芸展出品作



7 黒地金彩直弧文陶箱 石原祥嗣 2009 年 福岡県 第 106 回九州山口陶磁展文部科学大臣賞 館蔵



32 青白磁彫文器 久保田烈工 2023 年 熊本県



67 叩き唐津三島象嵌瓶 「澤」 中里逢庵 1987 年 佐賀県 第19回日展出品作 館蔵



70 和紙染鉢 中村ゑ美こ 2018 年 佐賀県



80 焱 前田泰昭 2022 年 佐賀県 第9回日展出品作

2. 企画展・テーマ展など

◎主催展

(1) 新収蔵品展1

九州陶磁文化館では、令和2年度から令和4年度に購入や寄贈などにより新たに当館のコレクションとなった作品のうち 42 件 51 点をお披露目しました。

今回は、18世紀にヨーロッパへ輸出されドイツのザクセン選帝侯の旧蔵品として伝わった金襴手様式の皿をはじめとする江戸期から明治期の有田焼、長崎県の三川内焼(平戸焼)や熊本県の上村(うえむら)焼、有田国際陶磁展の文部科学大臣賞受賞作品など、近世から現代までの作品を紹介しました。

○主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

○会 場 佐賀県立九州陶磁文化館

第5展示室 (一部は他の展示室に展示)

〇会 期 令和5年(2023年)5月20日(土)~7月9日(日)

51 日間

○休館日 月曜日

○観覧料 無料

○入館者 3,734人 1日 73人

〇出品数 42件51点

○展示内容 江戸時代の肥前陶磁

近代の肥前陶磁 熊本・長崎の陶磁器 現代の陶芸作品



展示風景



染付雲鶴文杏葉紋花瓶 有田 香蘭社 1910~1920年代 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 音成志津子氏寄贈



展示風景



色絵花盆文大皿 肥前 有田 1700~1730 年代 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 ザクセン選帝侯アウグスト強王旧蔵品



色絵牡丹唐草文蓋物 肥前 有田 1700~1740 年代 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 山口智也氏寄贈

(2) 新収蔵品展2 古唐津とその周辺

九州陶磁文化館では、令和4年度に山口陽二氏から当館に御寄贈いただいた作品30件43点をお披露目します。この度御寄贈いただいたのは、安土桃山時代から江戸時代前期の古唐津と初期伊万里を中心に、福岡県の上野焼や長崎県の現川焼、さらに九州陶磁のルーツといえる朝鮮時代の陶磁器などを含む質の高い多彩な作品群です。

鉄絵によるのびやかな文様表現をみどころとする絵唐津をはじめ、古陶磁の魅力あふれる収集品を紹介します。

<広報用資料より>

○主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

○会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室

○会 期 令和5年(2023年) 12月9日(土)~令和6年(2024年) 1月

8日 (月·祝)

22 日間

○休館日 月曜日 ただし1月8日は開館

○観覧料 無料

○入館者 1,890 人 1 日 86 人

○出品数 30件43点

○展示内容 江戸時代の肥前陶磁

長崎・福岡の陶磁器

朝鮮の陶磁器

○イベント 九州陶磁文化館やきものセミナー 第7回

「新収蔵品展2 古唐津とその周辺」のみどころ

日時:令和5年12月16日(土曜日) 14:00~15:00



展示風景



鉄絵草文四方皿 肥前 1590~1610 年代 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 山口陽二氏寄贈



鉄絵葦鳥文擂座四方猪口 肥前 1590~1610 年代 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 山口陽二氏寄贈



鉄絵蔓草文壺 肥前 1590~1610 年代 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 山口陽二氏寄贈



染付蓮文皿 肥前 有田 1610~1630 年代 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 山口陽二氏寄贈



土灰釉釜形水指 豊前 上野 1600~1620 年代 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 山口陽二氏寄贈



對彫伊羅保茶碗
 朝鮮 16 世紀
 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵
 山口陽二氏寄贈

◎企画展 なんて書いてあると?―お皿の裏話―

やきものの裏を見てみると、表の文様とは違った文字やマークが書かれていることがあります。この文字やマークのことを「銘 (めい)」と呼んでいます。

銘には様々な種類があり、中国の磁器に書かれた銘をまねてまるで中国で作られたかのように書かれた文字や、何だか分からない不思議なマークなど、バラエティーに富んでいます。長い間、色々な産地で使われた銘もあれば、特定の窯でのみ使われた銘もあります。

江戸時代の佐賀のやきものを中心に、お手本となった中国のやきものや他の産地のやきものにも触れながら、一言では表せない奥深い銘の世界を分かりやすく紹介しました。

○主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

○会 場 佐賀県立九州陶磁文化館

第4~5展示室

○会 期 令和5年(2023年)9月30日(土)~11月26日(日) 50日間

○休館日 月曜日 ※10月9日 (月・祝) は開館し、翌日休館

○出品数 約170件

○観覧料 無料

○入館者 7,295 人 1 日 146 人

○イベント ①学芸員によるギャラリートーク

日時:会期中の土曜日 14 時から (1 時間程度)

※やきものセミナー開催日 (10 月 21 日、11 月 18 日)

を除く。

場所:第4~5展示室

②九州陶磁文化館やきものセミナー(第5、6回)

ア 企画展「なんて書いてあると?」を楽しむために 前編 日時:令和5年10月21日(土曜日)13時30分~15時

場所:研修室1・展示室等

イ 企画展「なんて書いてあると?」を楽しむために 後編 日時:令和5年11 月18 日(土曜日) 13 時30 分~15 時

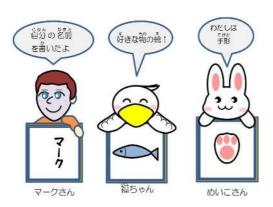
場所:研修室1・展示室等

○展示構成 Q.1 お皿の裏には何が書いてあるの?

Q. 2 どんな種類があるの?

Q. 3 時代によって違うの?

Q. 4 銘のこと もっと知りたい!



こども向けワークシートのイラスト



展示風景



展示風景



展示風景

◎共催展

(1) 第119回有田国際陶磁展(美術工芸品・オブジェ部門)

趣 旨

我が国における磁器発祥の地、佐賀県有田町に世界の陶磁器作品を集め、一般の鑑賞に供し、技術の交流、品質の向上、デザインの改善を図り、伝統工芸の継承と産業的発展を期して、この陶磁展を開催します。

<開催要項より>

審查評

2023年の春、コロナ禍の今後を軽々には言葉にできないところではありますが、それでも私たちの気持ちは、長く続いた耐える時間を終わらせて、前を向きたい気持ちに満ちています。そのような明るい気持ちを心に抱きつつ、第119回有田国際陶磁展がこのたび実施されますことを心からお慶び申し上げます。

今回の美術工芸品・オブジェ部門の応募は、前回から 27 点増えまして全部で 107 点を数えました。この数字は、第 116 回の 109 点. 第 117 回の 102 点に近く、コロナ禍前の水準に戻ったと言えるように思います。

審査には3名の審査員があたり.一次審査は各審査員が30点ずつを選ぶことからはじめ、合議を経て73点の入選作品を 決定いたしました。二次審査では、一次審査の得票数を踏まえ、合議の上、授賞候補作品17点を選出し、15点の入賞作品 を決定いたしました。いずれも素材や形への探究心に満ちた創意あふれる見応えのある作品です。

第一席の文部科学大臣賞を受賞した澤山大亮さんの《天目線文彫鉢》は、天目釉の力強さと優美な形状とを見事に組み合わせた作品です。鉢の外側にほどこした彫文と線文とが天目釉の表情にリズムをもたらしています。その一方で. 見込みには細やかな結晶が茫洋と広がり、宇宙を感じせます。

第二席の佐賀県知事賞を受賞した庄村久喜さんの《白妙彩磁鉢》は、内側から光を発しているかのように見える独特の光 沢感を持つ作品です。器の内外にほどこした彫りの深さを絶妙に変えているため、光と影の表情が複雑みを持って冴え、四 方にアクセントをつけた形状と調和しています、

有田町長賞を受賞した増原嘉央理さんの《紅白鮮 水影-2302-》は、ゆったりとした鉢の形状を細かな紅白の模様で覆っています。水面を照らす陽光のきらめきを紅白に見立てた大胆さも見所です。

有田商工会議所会頭賞の赤塚幸恵さんの《白磁釉内彩鉢》は、青のグラデーションと銀色の点描を丹念にほどこした優しげな印象の作品です。この控えめな表情が審査員の心を掴みました。

審査は、難しくもありますが、出品者の方々の創意工夫に出会える、またとない貴重な時間です。入選、入賞の方々が、素材の魅力や制作過程の高揚感を形にまとめあげた成果を、ぜひ、展覧会で皆様にご覧いただきたく思います。次回も充実した公募展になりますよう願っています。

<審査員長 花里麻理氏 審査評より>

会 期 令和5年(2023年)4月29日(土・祝)~5月7日(日)(9日間)

主 催 佐賀県、有田町、有田商工会議所

出品概要 入選 73点 うち入賞 15点

招待作品 4点(美術工芸品・オブジェ部門)

出品目録 A4版24ページカラー 図版36

入館者 2,250人 1日平均250人

審 查 員 木村芳郎 日本工芸会正会員

叶 道夫 日展持別会員 日本新工芸家連盟副理事長

花里麻理 茨城県陶芸美術館 評論家



「天目線文彫鉢」 澤山 大亮 第一位 文部科学大臣賞

美術工芸品・オブジェ部門〈出品概要〉



展示風景

県 名	出品者数	出品点数	入選点数	入賞点数
山口県	3	3	2	0
福岡県	10	12	10	1
佐賀県	45	46	33	11
長崎県	8	9	5	0
熊本県	3	3	1	0
大分県	1	1	0	0
宮崎県	0	0	0	0
鹿児島県	2	2	2	0
沖縄県	0	0	0	0
他国内	30	31	20	3
海外	0	0	0	0
計	102	107	73	15

<有田国際陶磁展 入賞者名簿>

賞	入賞作品名	氏名	住所
文部科学大臣賞	天目線文彫鉢	澤山 大亮	佐賀県西松浦郡有田町
2位・佐賀県知事賞	白妙彩磁鉢	庄村 久喜	佐賀県西松浦郡有田町
3位・有田町長賞	紅白鮮 水影 -2302-	増原 嘉央理	北海道札幌市
4位・有田商工会議所会頭賞	白磁釉内彩鉢	赤塚 幸恵	佐賀県武雄市
佐賀県陶芸協会賞	彩色象嵌壷	中尾 恭純	佐賀県西松浦郡有田町
朝日新聞社賞	連作 嘆きの壁	嶋田 敏生	佐賀県西松浦郡有田町
熊本放送賞	たおる	西岡 彩那	福岡県福岡市
佐賀新聞社賞	彩色象嵌壷	中尾 恭純	佐賀県西松浦郡有田町
サガテレビ賞	カーテン・コール	小野 達郎	佐賀県嬉野市
陶業時報社賞	鉄染線紋壷	中村 美穂	佐賀県西松浦郡有田町
西日本新聞社賞	Digital Camouflage 四方鉢揃	草場 瑛人	佐賀県西松浦郡有田町
日本経済新聞社賞	大鉢「優美」	岸田 怜	長野県長野市
読売新聞社賞	白磁削手華片菓子器「はなゆめあそび」	丹波 シゲユキ	北海道札幌市
伝統的工芸品産業振興協会賞	海春	山口 浩子	佐賀県西松浦郡有田町
陶都有田国際交流協会賞	Fuwa Fuwa	Afra Eisma	佐賀県西松浦郡有田町

<招待作品>(審査員・重要無形文化財)

作 品 名	出 品 者 名	住 所	
赫虹	叶 道夫	京都府京都市	
碧釉壺「滴」	木村 芳郎	広島県東広島市	
白磁染緑彩軸桜彫文皿	井上 萬二 (重要無形文化財)	佐賀県有田町	
色絵雪花墨はじき紅葉文鉢	今泉 今右衛門(重要無形文化財)	佐賀県有田町	

◎後援展

(1) 第44回九州新工芸展

趣 旨

九州新工芸家連盟は工芸の本質を問い、現代に望まれ、未来を明示できる生活造形を確立することを目標としています。 生活のなかに求められるもの、生活を豊かにするための造形美を追求し、多様化する造形指向の中にある工芸の位置付けを 明確にしたいと考えています。工芸活動は、陶芸、金工、漆芸、染色をはじめ、木竹、皮革、硝子、七宝、人形、紙工芸な ど、多岐にわたり生活との接点が非常に多いものです。各作家の各分野で素材を生かした造形作品の出品を期待します。 く 開催要項より>

会 期 令和5年(2023年)7月26日(水)~8月6日(日)(12日間)

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館

主 催 九州新工芸家連盟

後 援 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県 佐賀県立九州陶磁文化館・読売新聞社・NHK佐賀放送局 佐賀新聞社・サガテレビ

展示内容 37点(磁器4点・陶器8点・染色・14点・竹工6点・人形4点・他1点)

入館者 1,105人 1日平均約100人

審 查 員 鈴田 由紀夫 佐賀県立九州陶磁文化館館長

森川 誠一 NHK佐賀放送局 営業部副部長

生野 徳三 公益社団法人日本新工芸家連盟顧問

田中 嘉生 公益社団法人日本新工芸家連盟理事

猪俣 美帆 公益社団法人日本新工芸家連盟審議員

荒木 久仁子 公益社団法人日本新工芸家連盟会員



「優しい時間」 奥田民子 令和5年度 大賞

九州新工芸 令和5年度受賞者リスト								
	76711781 11.25 17	140千尺又頁		Ι				
賞	入賞作品名	分野	受賞者氏名	住所				
大賞	優しい時間	染色	奥田 民子	東京都				
福岡県知事賞	Here comes Sun	染色	猪俣 美帆	福岡市				
佐賀県知事賞	悠悠閑閑	染色	渡邊 成樹	武雄市				
長崎県知事賞	爽風	人形	澄川 幸子	長与町				
大分県知事賞	眼差し	竹工	長谷川 絢	竹田市				
宮崎県知事賞	宮崎県知事賞 竹涼み		谷口 倫都	竹田市				
鹿児島県知事賞	午睡	染色	中野 裕子	鹿児島市				
九州陶磁文化館館長賞	未来へ	陶器	森山 清香	福岡市				
城秀男賞	水面を編んでく	染色	吉村 希代子	福岡市				
読売新聞西部本社賞	海百合	竹工	松本 綾香	別府市				
佐賀新聞社賞	受容	陶器	山内 颯	有田町				
NHK 佐賀放送局賞	あと	染色	津村 光璃	佐賀市				

サガテレビ賞	陶象嵌 想い	陶象嵌 想い 人形 岸川 理惠子		嬉野市
奨励賞	春の息吹	竹工	大鍛冶 未来	豊後高田市
奨励賞	奨励賞 うらおもて		蓮井 ひろ	福岡市
奨励賞 The Moon Struck One		竹工	田中 正俊	別府市

(2) 第3回伊万里・有田焼伝統工芸士会・佐賀県陶磁器技能士連合会合同作品展

趣 旨

この展示会を通じて伝統的工芸品伊万里・有田焼がいかに生活に深く根差し、興味溢れるものかを、さらには 現在の伝統的工芸品産業伊万里・有田焼の姿と活動を県民に親しみやすく、また楽しく表現し、伊万里・有田焼の ある暮らしに興味と再認識を呼び起こすとともに、新しい生活文化を広く提案するものです。<開催趣旨より>

会 期 令和5年(2023年)8月11日(金·祝)~8月20日(日)(9日間)

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室

主 催 伊万里・有田焼伝統工芸士会、佐賀県陶磁器技能士連合会

後 接 佐賀県立九州陶磁文化館、(一財)伝統的工芸品産業振興協会、佐賀県陶磁器工業協同組合、 国立大法人佐賀大学

展示内容 伝統工芸士と陶磁器技能士による作品 約100点を展示

入館者 1,006人 1日平均112人

イベント 展示会場にて応援メッセージを収録した PR 動画等を放映







展示作品

(3) 第32回 陶千坊展

趣旨

「子供のように純真・純粋な感性と心で焼き物を製作し、新しいことに果敢に挑戦する仲間として集い、自由でかっ達な運営により相乗的な技術的向上と発展を目指す陶芸展」の開催を目標とし、今回で32回目を迎える。

<開催企画書より>

会 期 令和5年(2023年)8月22日(火)~8月27日(日)(6日間)

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室

主 催 陶千坊

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 陶芸作品全般(オブジェ、器、陶人形等) 391 点を展示

入館者 545 人 1 日平均 91 人







展示作品

(4) 第55回有田工業高等学校卒業制作展

趣旨

本校は工業の原点である「ものづくり」を通して、創造的で、行動力に満ちた、他者への思いやりの心を持つ人間性豊かなスペシャリストの育成を目指しております。

このたび開催予定の卒業制作展で発表する作品は、卒業学年の「課題研究」で取り組んだものを中心に、多種多様な分野に果敢に挑戦して制作したものです。

この作品展は54年前にデザイン科のみでスタートしましたが、平成元年よりセラミック科が加わり年ごとに充実し、西暦2000年には創立100周年を機に本校の一層の発展を期して全校・全学科をあげて開催するとになりました。今後も「ものづくり」の有田工業高校の更なる飛躍を目指す所存でございますので、ご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。<開催要項より>

会 期 令和6年(2024年)1月16日(火)~1月21日(日)(6日間)

会場 佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室及び一般研修室

主 催 佐賀県立有田工業高等学校

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

出品概要 生徒数 174 人(全日制: 153 人 定時制: 13 人 聴講生 8 人) による約 200 点展示

展示内容

【セラミック科】ろくろ成形の研究、手びねり・板づくり成形の研究、鋳込み・押し型成形の研究、陶磁器加飾法の研究、 リサイクル磁器の研究、釉薬・陶紙の研究

【デザイン科】 地域等から問題点を見つけ、デザインの手法で解決方法を提案した作品、研究商品企画・試作、映画製作、地域プロモーション映像、地域ブランディング・地域活性化プラン・他県の農業高校との連携ほか

【電 気 科】 プロジェクションマッピング、野球盤の製作、ビーコロの製作、サッカーロボットの製作、3D照明、モールス信号発生器

【機 械 科】 旋盤や溶接を使ったものづくり、鋳造・溶接を活用したものづくり、学校 PR 制作物、MC(マシニングセンタ)によるものづくり、機械科の技術で地域貢献!

入館者 2,204 人 1 日平均 367 人



展示作品





展示風景





展示作品



展示風景

(5) 第34回九州陶磁器デザイナー協会展

趣旨

九州陶磁器デザイナー協会は、佐賀・長崎にまたがる肥前窯業圏を中心として、陶磁器デザインに関わる企業 デザイナー・教育者・窯業技術センター職員等の親睦と研修の集まりです。

その始まりは、昭和 26 年にまでさかのぼりますが、会としての形式は特に整えず、問題意識のある人達が自由 に集まって発言をする場として永く続いてまいりました。陶磁器を通して地域のなかに根付き、戦後デザイン 運動の九州での母体ともなってきました。

会場 第5展示室

主 催 九州陶磁器デザイナー協会

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 九州陶磁器デザイナー協会 (通称 DAKT) の会員によるテーマに合わせた陶磁器作品 第 34 回目のテーマは「生活のリアリティー」

作品数 204点

入館者 862人 1日平均144人



展示風景



展示作品



展示作品



展示作品

(6) 第39回 陶交会展 「material」

趣旨

世界情勢や為替の影響で、資材や原材料の価格が高騰し、人件費の引き上げもあり、多くの窯元が悩んでいるかと思います。その中で、今の自分たちが使っているものがどのような素材で、どのような特徴があるかを再考する機会になればという思いでこのテーマにしました。また今回も、佐賀大学の学生の作品も展示致します。 <開催要項より>

会 期 令和6年(2024年)3月5日(火)~3月10日(日)(6日間)

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室

主 催 陶交会(令和4年4月1日、有田陶交会から改称)

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館、肥前陶磁器商工協同組合、佐賀県陶磁器工業協同組合

展示内容 テーマ『material』、陶交会に参加している 15 名により制作発表される作品と、佐賀大学有田キャンパスの 学生の作品

入館者 832人 1日平均139人



展示風景



展示作品

3. 九州陶磁文化館やきものセミナー

当館の学芸員が陶磁器に関する知識や展覧会のみどころなどをお話しする講座。陶磁器の歴史や文化、技法や様式の変化など様々なテーマを設定。令和 5 年度は $6\sim3$ 月にかけて全 10 回開催。

日 時 6月から 毎月第3土曜日 13:30~15:00 (1月は第4土曜日)

会 場 研修室1・展示室等

受講料 無料 *事前申込不要、当日受付

開催日	講座タイトル	担当	参加人数
6月17日(土)	新収蔵品展1 古伊万里から現代作まで 作品の背景をさぐる	藤原 友子	25 名
7月15日 (土)	アウグスト強王の有田磁器 ドレスデン国立美術館 磁器コレクションの再評	藤原 友子	12 名
8月19日 (土)	肥前陶磁器の草創をめぐる歴史叙述 I たけどみいなん 一武富圯南「詠磁器」を読む—	芳野 貴典	23 名
9月16日 (土)	シン・「有田焼の歴史」展示のディープな見方 日本磁器の誕生	德永 貞紹	20 名
10月21日(土)	企画展「なんて書いてあると?」を楽しむために <前編>	宮木 貴史	40 名
11月18日(土)	企画展「なんて書いてあると?」を楽しむために <後編>	宮木 貴史	23 名
12月16日(土)	「新収蔵品展2 古唐津とその周辺」のみどころ	巖 由季子	21 名
1月27日(土)	「含珠焼」とアメリカ人女性ジャーナリストの佐 賀紀行	德永 貞紹	29 名
2月17日 (土)	陶磁器修復の歴史〜江戸時代の漆継ぎと焼継ぎ〜	巖 由季子	22 名
3月16日(土)	肥前陶磁器の草創をめぐる歴史叙述 II たけどみいなん 一武富圯南「陶器賛並引」を読む—	芳野 貴典	16名

4. 利用状况

◎月毎の入館者数

月	開館日数	入館者数	月	開館日数	入館者数
4月	26	3, 013	11月	26	3, 805
5月	27	3, 420	12 月	24	2, 077
6月	26	2, 040	1月	24	3, 799
7月	26	2, 152	2月	25	3, 172
8月	27	2, 625	3月	27	4, 695
9月	26	2, 150	合計	310	36, 638
10 月	26	3, 690	平均	25. 8	3, 053

◎展覧会毎の入館者数

No.	展 覧 会 名	主催・共催・ 後援	会 期	日数	入館者数
1	第 119 回有田国際陶磁展	共催	4/29~5/7	9	2, 250
2	新収蔵品展1 古伊万里から現代作まで	主催	5/20~7/9	44	3, 734
3	第 44 回九州新工芸展	後援	7/26~8/6	11	1, 105
4	第3回伊万里・有田伝統工芸士会 佐賀県陶磁器技能士連合会合同作品展	後援	8/11~8/20	9	1, 006
5	第 32 回陶千坊展	後援	8/22~8/27	6	545
6	企画展「なんて書いてあると? -お皿の裏話-」	主催	9/30~11/26	50	7, 295
7	新収蔵品展2 古唐津とその周辺	主催	12/9~1/8	22	1, 890
8	第55回有田工業高等学校卒業制作展	後援	後援 1/16~1/21		2, 204
9	第 34 回九州陶磁器デザイナー協会展	後援	2/20~2/25	6	862
11	第 39 回陶交会展	後援	3/5~3/10	6	832

4. 館蔵資料等の貸し出し 貸出資料数一覧

許可	No.	事業・展覧会・目的	貸出期間	貸出先	貸出				
番号	NO.	争来・ਲ見云・日的	頁 山朔间	頁山尤	件数	点数			
586	1	佐賀県教育長室で展示	R5.4.1~R6.3.31	佐賀県教育庁教育総務課	1	1			
587	2	愛知県陶磁美術館常設展「日本と世界のやきもの」で 展示	R5.4.1~R6.3.31	愛知県陶磁美術館	_	183			
588	3	佐賀県首都圏事務所応接室で展示	R5.4.1~R6.3.31	佐賀県首都圏事務所	2	2			
589	4	佐賀県庁来賓室で展示	R5.4.1~R6.3.31	佐賀県秘書課	1	1			
591	5	佐賀県議会議長室で展示	R5.4.1~R6.3.31	佐賀県議会事務局	2	2			
592	6	特別展「国宝と現代の名匠『三右衛門』-今泉今右衛 門酒井田柿右衛門 中里太郎衛門-」で展示	R5.9.15~R6.2.16	宗像大社神宝館	4	4			
593	7	企画展「型、カタ、かた…江戸のやきものづくり」で 展示	R5.10.19~R5.12.22	朝日町歴史博物館	6	6			
594	8	企画展「唐津のなかの唐津焼」で展示	R5.9.15~R6.2.18	唐津市教育委員会	9	9			
595	9	ウィーン万博 150 年記念テーマ展「常民、欧州を駆ける~Vienna1873、そしてローマへ」で展示	R6.1.22~R6.3.15	佐賀市歴史・文化課	1	1			
596	10	唐津文化芸術祭におけるイベント「髙取家コレクション展」で展示	R5.11.13~R5.11.24	一般社団法人唐津観光協会	14	14			
597	11	特別企画「謎解き奥高麗」で展示	R6.1.15~R6.4.15	公益財団法人根津美術館	1	1			
	令和 5 年度 貸出資料数: 41 件 224 点								

5. 館蔵資料等の閲覧・撮影・画像原稿借用・画像使用等

令和5年(2023年)4月1日~令和6年(2024年)3月31日85件(875点)

閲覧・撮影 20 件 355 点 画像使用(印刷物掲載、放映等) 65 件 520 点 *この他、施設としての撮影 15 件

教 育 普 及 活 動

1. 展示案内

団体案内は予約制だが、要望に応じて随時対応している

令和5年度 展示案内実施回数

			実施	回数					人数	数		
	学芸	総務	会計年 度任用 職員	予約	その 他	計	学芸	総務	会計年 度任用 職員	予約	その 他	計
4月	6	0	7	7	6	13	85	0	125	51	159	210
5月	3	0	6	6	3	9	42	0	85	70	57	127
6月	1	0	6	3	4	7	4	0	116	22	98	120
7月	3	0	5	5	3	8	29	0	124	53	100	153
8月	3	0	3	4	2	6	9	0	27	4	32	36
9月	2	0	5	1	6	7	13	0	175	2	186	188
10 月	10	0	16	8	18	26	163	0	444	66	541	607
11月	5	0	17	13	9	22	119	0	276	131	264	395
12 月	3	0	6	9	0	9	40	0	108	25	123	148
1月	5	0	7	3	9	12	100	0	122	25	197	222
2月	4	0	8	9	3	12	12	0	184	20	176	196
3月	3	0	10	10	3	13	58	0	133	87	104	191
計	48	0	96	78	66	144	674	0	1, 919	556	2, 037	2, 593

令和5年度 団体観覧

	展示案内		自 由	観 覧	学校行	事観覧	合言	合計		
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数		
4月	4	145	4	153	2	14	10	312		
5月	3	69	1	26	0	0	4	95		
6月	0	0	0	0	2	167	2	167		
7月	1	23	2	50	3	170	6	243		
8月	0	0	1	58	2	30	3	88		
9月	3	151	3	132	2	32	8	315		
10 月	12	286	10	323	7	524	29	1, 133		
11月	8	253	6	294	2	132	16	679		
12 月	3	87	1	22	1	17	5	126		
1月	2	59	2	62	14	854	18	975		
2月	4	115	5	273	3	99	12	487		
3月	3	104	8	478	1	21	12	603		
計	43	1, 292	43	1, 871	39	2,060	125	5, 223		

^{*}団体とは20名以上の予約観覧者

^{*}学校行事観覧(団体)は、案内の有無にかかわらず記載

2. イベント・行事など

◎笑顔 de さいこうマルシェ in 九州陶磁文化館

期 間 令和5年(2023年)4月29日(土・祝)~5月5日(金・祝)(7日間)

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランス

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内容 お菓子・雑貨・手芸品など個性あふれる6店舗が九州陶磁文化館に出店しました。







◎夏休み子供向けイベント

期 間 令和5年(2023年)7月21日(金)~8月31日(木) (36日間)

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 夏のイベントとして、オリジナル風鈴作り、九陶探検とはしおきづくり等を行いました。

(1) オリジナル風鈴 (1個800円)

有田焼の真っ白な風鈴に色とりどりのペンで絵付けをしてオリジナル風鈴を制作





(2) 白いうちわに絵を描こう (無料)

白いうちわに自分の好きな絵を描いたり、スタンプを押したりして飾りつけ





(3) 九陶探検とはしおきづくり (はしおき1個500円) 7/22(土)、8/8(火)

収蔵庫などふだん見られない場所も含めて館内を学芸員と探検

探検後に有田焼のはしおきづくり

※協力 有田町地域おこし協力隊







(4) 文様スタンプで遊ぼう (ハマ1個 300~500 円 トートバッグ1個 500 円) 7/29 (土) ハマやトートバッグに有田焼の職人が使う文様スタンプを押して飾りつけ

※協力 有田まちづくり公社





(5) 九陶の蝶々に隠されたなぞを解け!~蝶々をめでるやきもの クイズにチャレンジ~ (参加無料)

 $7/21 \sim 9/18$

展示室で蝶の文様のある作品を探して、クイズにチャレンジ ※SAGA むし結び(佐賀大学)の関連イベント





◎クリスマスイベント

期 間 令和5年12月9日(土)~12月24日(日) (14日間)

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 エントランスホールに 2.4 メートルのクリスマスツリーを設置し、その足元には、泉山陶石で作った白磁 のミニツリーを飾ってお客様をお迎えしました。また、アリタセラで開催されているアリタ・マシュマロ・クリスマスとあわせて、地域の方にクリスマスを楽しんでいただきました。

(1) アドベントカレンダー作り (土台の皿付き 2,500 円・土台の皿なし 1,500 円) 12/9 (土) クリスマス当日までをカウントダウンするカレンダーづくり





(2) クリスマスベルをつくろう! (1個1,000円) 素焼きのベルにスタンプを押したり絵をかいたりしてデコレーション





(3) クリスマスコンサート (参加無料) 12/17 (日) 佐賀県内を中心に幅広く活躍されている久米詔子氏によるエレクトーンコンサート





(4) 佐賀交響楽団メンバーによるミニコンサート(参加無料) 12/24(日) 佐賀交響楽団メンバーによる弦楽器と管楽器アンサンブルコンサート







エントランスホールのツリーと白磁のミニツリー

◎ひなまつりイベント

期 間 令和6年(2024年)1月30日(火)~3月10日(日)(36日間)

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 「有田雛(ひいな)のやきものまつり」(R6.2.4~3.10)にあわせ、地域の皆様に親しみをもってもらえるよう、館内外で様々なイベントを実施しました。

また、まつり期間に有田町内で実施される「おひなめぐりスタンプラリー」にも参加しました。

(1)「ひなまつりぬりえ」展示

有田町内の保育園、認定こども園の年長児のひなまつりぬり絵展



(2) 世界最大の磁器製座り白磁びな七段飾りの展示

県窯業技術センターも関与して平成 17~20 年度にかけ制作された世界最大の磁器製座り白磁びな七段飾りを展示



(3) ひなまつり九陶フェス 3/3(日)

。九州陶磁文化館×ボヌールマルシェ

場所 佐賀県立九州陶磁文化館 玄関前広場 飲食・スイーツ・アクセサリー・雑貨・ワークショップなど、約40店舗が出店 ※協力 有田観光協会 ボヌールマルシェ

・有田町内中学校吹奏楽部コンサート (無料) 場所 佐賀県立九州陶磁文化館 講堂 有田中学校、西有田中学校の吹奏楽部によるミニコンサート

。Shinoe LIVE in 九州陶磁文化館 (無料) 場所 佐賀県立九州陶磁文化館 講堂 Shinoe (しのえ) さんとギタリスト石川雄一さんによるコンサート

・展示室ガイドツアー (無料) 場所 佐賀県立九州陶磁文化館 第1展示室 令和4年にリニューアルした第1展示室「有田焼の歴史」を展示案内









◎ オリジナルグッズの製作

令和5年度新たに販売開始した九州陶磁文化館オリジナルグッズ ふせん紙(唐獅子) マスキングテープ(うさぎ)





3. 印刷物等の刊行

館報「セラミック九州」60号

編集: 佐賀県立九州陶磁文化館 発行: 佐賀県立九州陶磁文化館

発行日:令和6年(2024年)3月15日 規格: A4判、オールカラ-、8ページ

内容:・令和5年度 企画展「なんて書いてあると? ―お皿の裏話―」、「新収蔵品展1 古伊万里から現代作まで」、「新収蔵品展2 古唐津とその周辺」の報告

・令和6年度 寄贈記念展「赤戯幸コレクション― 初期伊万里・初期色絵・初期鍋島の精華 ―」、寄贈記念・特別企画展「江戸大皿百物語 ―躍動する青の世界―」のお知らせ

・調査ノート「肥前磁器における八卦文様の変遷」徳永貞紹

· 史料紹介「武富圯南「詠磁器」」 芳野貴典



セラミック九州 60号

紀要「佐賀県立九州陶磁文化館 研究紀要」第9号

編集: 佐賀県立九州陶磁文化館 発行: 佐賀県立九州陶磁文化館

発行日:令和6年(2024年)3月24日

規格: A4判、69ページ

内容:・18世紀後半に柿右衛門窯が製作した磁器を明らかにする論考や、柴田夫妻コレクションにみられる銘の紹介、19世紀の儒者による肥前陶磁に関する詩の紹介といった調査研究の結果を収録

- ・「18世紀後半、有田・酒井田実右衛門の磁器について」大橋康二
- ・「柴田夫妻コレクションにみる銘款集成4― 18 世紀後半から近代まで ―」

宮木貴史

・「【資料紹介】武富圯南「陶器賛並引」及び「詠磁器」」芳野貴典

その他:電子版を Web 公開



佐賀県立九州陶磁文化館 研究紀要 第9号

「Guidebook to Permanent Exhibition History of Arita Ware ∼A Miraculous Story Told in Porcelain∼」

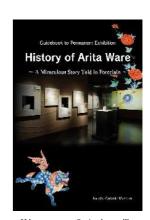
編集:佐賀県立九州陶磁文化館 発行:佐賀県立九州陶磁文化館

発行日:令和6年(2024年)3月15日

規格: A5判、88ページ

内容:・令和4年(2023年)4月にリニューアルオープンした第1展示室「有田焼の歴

史」の展示内容を解説したガイドブックの英語版



History of Arita Ware

~ A Miraculous Story Told
in Porcelain ~

4. 博物館実習

趣 旨 博物館実習をする大学生を対象に、館の運営・資料の収集・展示・保管などについて指導する。

期 間・受講者

令和5年(2023年)7月31日(月)~8月4日(金) 佐賀大学2名

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 館内での業務実習

- ・館の運営の概要と施設の見学
- 陶磁概論
- ・陶磁資料の取り扱い方
- · 受付、案内業務実習
- 図書整理
- 収蔵資料整理
- ・展示解説の見学
- ・展示解説の方法、発表
- 展覧会準備の実務

5. 講演など

No.	期日	演題	主催・場所	対象	講師
1	R5. 7. 6	" 唐津焼(からつやき)" ってなに?	主催:佐賀大学教育学部附属小学校 場所:佐賀大学教育学部附属小学校	佐賀大学教育学部附属小学 校4年1組	德永貞紹 巖由季子
2	R5. 7. 29	松香溪(松ヶ谷)焼を再考する -小城藩と磁器生産-	主催:小城市立歴史資料館 場所:小城市立歴史資料館	小城の歴史講座 受講者	德永貞紹
3	R5. 9. 21	東京をつくった佐賀人	主催:佐賀市立新栄公民館 場所:佐賀市立新栄公民館	新栄さが学講座受講者	芳野貴典
4	R5. 10. 25	伝統産地と博物館 -肥前窯業圏を中心に-	主催:九州博物館協議会 場所:武雄文化会館	九州博物館学芸員•事務職員	鈴田由紀夫
5	R5. 11. 9	有田焼の歴史	主催:有田町立西有田中学校 場所:有田町立西有田中学校	西有田中学校1年生	宮木貴史 芳野貴典
6	R5. 11. 9	佐賀のやきもの一歴史と文化ー	主催:(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所:鳥栖市社会福祉会館	ゆめさが大学鳥栖校基礎課程 受講者	德永貞紹
7	R5. 11. 10	有田焼の歴史	主催:有田中学校 場所:有田中学校	有田中学校 1年生	宮木貴史
8	R5. 11. 16	佐賀のやきもの -歴史と文化-	主催: (公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所: 鹿島市生涯学習センターエイブル	ゆめさが大学鹿島校基礎課程 受講者	藤原友子
9	R5. 11. 22	武雄のやきもの -陶磁器の歴史と多様性-	主催:武雄市民大学 場所:武雄市文化会館	武雄市民大学 受講者	德永貞紹
10	R5. 12. 9	焼き物でつながる世界 ―セラミックアイランド九州―	主催:别府大学 場所:別府大学	別府大学生、一般聴講者	宮木貴史
11	R5. 12. 21	佐賀のやきもの -歴史と文化-	主催:(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所:唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」	ゆめさが大学唐津校基礎 課程 受講者	德永貞紹
12	R6. 1. 17	ゆめさが大学佐賀校基礎1組 「佐賀の陶磁器文化」	主催:(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所:アバンセ(佐賀県立男女共同参画・生涯学習センター)	ゆめさが大学佐賀校基礎課 程受講者	巖由季子
13	R6. 2. 24	万国博覧会と有田焼 ー博覧会出品作にみる変革の時代ー	主催: 佐野常民と三重津海軍所跡の歴 史館 場所: 同多目的室	ウィーン万博 150 年記念テ ーマ展観覧者等	藤原友子
14	R6. 3. 13	ゆめさが大学佐賀校基礎2組 「佐賀の陶磁器文化」	主催:(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所:佐賀県スポーツ会館	ゆめさが大学基礎課程 佐賀校受講者	巖由季子

調査研究活動

1. 調査

No.	期日	目的	調査地	調査者
1	R5. 11. 24	資料調査	佐賀県	鈴田由紀夫 德永貞紹 藤原友子
2	R6. 2. 26∼3. 1	在外肥前陶磁調查	大韓民国 ソウル・光州	德永貞紹 巖由季子
3	R6. 3. 8	資料調査	東京都	藤原友子
4	R6. 3. 6∼3. 7	令和5年度鳥取県アートミュージアム 連携協議会加盟館学芸員等研修会に係 る調査等用務	鳥取県	大橋康二 宮木貴史 芳野貴典

2. 調査協力・広報・研修など

No.	期日	内容	場所	主催・依頼等	担当者
1	R5. 5. 17	令和5年度佐賀県文化財保護事務研修会	佐賀県庁	佐賀県文化財保護室	巖由季子
2	R5. 5. 23~24	第 16 回陶磁ネットワーク会議現地研修	山口県立萩美 術館・浦上記念 館	陶磁ネットワーク	大久保清人 芳野貴典 巖由季子
3	R5. 6. 29	寄贈資料引取	東京都	_	德永貞紹 巖由季子
4	R5. 9. 1	長崎県文化財保護審議会	長崎市	長崎県学芸文化課	藤原友子
5	R5. 10. 25~26	第 53 回九州博物館協議会学芸員・事務職員研修 会	佐賀県	九州博物館協議会	加藤英治、福田直 美、德永貞紹、藤原 友子、巖由季子、宮 木貴史、芳野貴典
6	R5. 11. 11~12	第 50 回大会 大会 1 「陶磁器の展示」発表あり (佐賀県立九州陶磁文化館常設展「有田焼の歴 史」)	東京都	東洋陶磁学会	藤原友子
7	R5. 11. 20	「一日だけの髙取家コレクション展」展示対応	佐賀県	一般社団法人 唐津市 観光協会	鈴田由紀夫 德永貞紹 藤原友子 巖由季子
8	R6. 2. 1	長崎県文化財保護審議会	長崎市	長崎県学芸文化課	藤原友子
9	R6. 2. 22	第9回文化財保護対策等佐賀県協議会	佐賀県庁	佐賀県文化財保護・ 活用室	宮木貴史
10	R6. 3. 8	渡辺美術館収蔵品調査及び鳥取県アートミュージアム連携協議会事業加盟館学芸員等研修会	鳥取県	渡辺美術館、鳥取県 アートミュージアム 連携協議会	大橋康二 宮木貴史 芳野貴典

3. 依賴資料調查

本館(来館)での依頼調査31 回 (64 件 82 点)写真等での依頼調査54 回 (132 件 229 点)計85 回 (196 件 311 点)

資料 収集活動

1. 陶磁資料の収集

令和5年度は寄贈資料58件95点、購入資料2件6点を新たに収蔵した。 総計 15,519件 29,234点(令和6年3月31日現在)



購入資料 染付蔦文木瓜形小皿 肥前 大川内 鍋島藩窯 1780~1810 年代



購入資料 中野月白瓷壺 重要無形文化財保持者 福島善三作 2022 年

2. 図書資料の収集

報告書	118
目 録	4
紀 要	130
海外	18
図 録	132
年 報	69
一般図書	29
その他	47
合 計	547

佐賀県立九州陶磁文化館資料目録 令和5年度(2023.4~2024.3)

凡例

1. この資料目録は、令和5年度の収蔵資料60件101点(寄贈・購入)を掲載している。

寄贈 58 件 95 点

購入 2件 6点

管理換 0件 0点

令和5年度末の館蔵品総数は15,519件29,234点である。

- 2. 平成 30 年度までは、「収蔵番号」については、収蔵登録番号と収蔵年度で〈00000-30〉と表示していたが、令和元年度(2019年)から収蔵登録番号と収蔵年(西暦)で〈00000-2019〉と表示している。
- 3. 寸法の単位はセンチメートルである。
- 4. 令和3年度から分類の大区分の一部を変更した。
 - (1)「近世の肥前陶磁」032. 古伊万里・承応様式を031. 古伊万里・正保様式に統合した。
 - (2)「現代の陶磁器」を旧「現代作家作品」から改め、240. 佐賀県Ⅱ松本佩山は230. 佐賀県に統合した。

	011. 唐津系陶器	
	021. 初期伊万里様式	\dashv
	030. 古伊万里様式	
	031. 古伊万里・正保様式	
	033. 古伊万里・寛文様式	
	034. 古伊万里・延宝様式	
近世の肥前陶磁	035. 古伊万里・元禄様式	
	036. 古伊万里・宝暦様式	
	037. 古伊万里・天明様式	
	038. 古伊万里・文政様式	
	041. 柿右衛門様式	
	051. 鍋島藩窯様式	
	060. 長崎の陶磁器	
	070. 福岡の陶磁器	
are the second	080. 熊本の陶磁器	
近世の九州陶磁	090. 大分の陶磁器	
(県外)	100. 宮崎の陶磁器	
	110. 鹿児島の陶磁器	
	120. 沖縄の陶磁器	
いた / トン か 401	130. 佐賀県 近代	
近代資料	140. 九州(県外) 近代	
	150. 九州以外 近世	
九州以外 他	160. 九州以外 近代	
	170. 陶磁器関連資料 (文書・図案など)	
	180. 中国の陶磁器	
	190. 朝鮮の陶磁器	
世界の陶磁器	200. アジアの陶磁器	
	210. ヨーロッパの陶磁器	
	220. その他の世界の陶磁器	
	230. 佐賀県	
	250. 長崎県	
	260. 福岡県	
	270. 熊本県	
現代の陶磁器	280. 大分県	
が1人の7両102名	290. 宮崎県	
	300. 鹿児島県	
	310. 沖縄県	
	320. 九州以外	
	330. 国外	

収蔵番号		資料名	点数	生產	産地/製作者	年代	口径	高さ	底径		館蔵寄贈
011. 唐	津系陶器	물]									
15511	-2023	点文蘭引	1	肥前		19 世紀	上段口径 8.0 中段径 15.6 下段径 15.6	総高 36.0 上段 15.0 中段 6.5 下段 14.6	23. 6	寄贈	香月孝氏寄贈
021. 初	期伊万里	旦様式]									
15465	-2023	染付山水文大皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	37. 2	12. 2	11. 0	寄贈	赤戯幸コレクション
15466	-2023	染付辰砂草花文皿	1	肥前	有田	1620~1640 年代	21. 5	3. 4	8. 0	寄贈	赤戯幸コレクション
15467	-2023	染付鷺文皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	22. 0	3. 1	10. 6	寄贈	赤戯幸コレクション
15468	-2023	染付鷺文皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	21. 2	2. 6	7. 8	寄贈	赤戯幸コレクション
15469	-2023	染付吹墨鷺文皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	19. 0	3. 2	7. 2	寄贈	赤戯幸コレクション
15470	-2023	染付吹墨兎文皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	20. 5	3. 9	6. 7	寄贈	赤戯幸コレクション
15471	-2023	染付牡丹蝶文皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	21. 3	2. 4	7. 4	寄贈	赤戯幸コレクション
15472	-2023	染付椿文皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	19. 3	3. 3	7. 3	寄贈	赤戯幸コレクション
15473	-2023	染付蓮網目文皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	19. 4	4. 3	7. 1	寄贈	赤戯幸コレクション
15474	-2023	青磁椿文三足皿	1	肥前		1630~1640 年代	19. 0	4. 4	5. 6	寄贈	赤戯幸コレクション
15475	-2023	染付吹墨梅樹文小皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	15. 3	3. 8	5. 5	寄贈	赤戯幸コレクション
15476	-2023	染付鷺算木文輪花小皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	15. 0	4. 1	5. 8	寄贈	赤戯幸コレクション
15477	-2023	染付鷺算木文輪花小皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	15. 0	4. 0	5. 2	寄贈	赤戯幸コレクション
15478	-2023	染付兎文小皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	14. 9	2. 8	6. 5	寄贈	赤戯幸コレクション
15479	-2023	染付梅鶯文小皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	13. 7	3.6	5. 2	寄贈	赤戯幸コレクション
15480	-2023	染付龍文輪花小皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	14. 2	3. 3	6. 2	寄贈	赤戯幸コレクション
15481	-2023	瑠璃釉葉形小皿	5	肥前	有田	1630~1640 年代	8. 9×10. 9	2. 9	3.6	寄贈	赤戯幸コレクション
15482	-2023	銹釉染付鶴文輪花小皿	1	肥前	有田	1630~1640 年代	13. 8	3. 7	5. 5	寄贈	赤戯幸コレクション
15483	-2023	銹釉染付花卉文輪花小皿	1	肥前	有田	1640 年代頃	13. 7	2. 9	6. 3	寄贈	赤戯幸コレクション
「031 古	·伊万里 •										
15487	-2023	染付岩鳥文皿	1	肥前	有田	1650 年代頃	21. 3	2. 6	10. 4	寄贈	赤戯幸コレクション
15484	-2023	瑠璃釉染付蓮鷺文皿	1	肥前	有田	1640~1650 年代	21. 2	3. 2	11. 1	寄贈	赤戯幸コレクション
15485	-2023	色絵柘榴文小皿	1	肥前	有田	1640~1650 年代	13. 8	2. 6	7. 0	寄贈	赤戯幸コレクション
15486	-2023	染付銹釉菊文菊花形小皿	1	肥前	有田	1640~1650 年代	11. 6×8. 7	2. 0	6. 3×5. 0	寄贈	赤戯幸コレクション
15488	-2023	染付椿文皿	1		有田	1650 年代頃	20. 6	2. 3	11. 6	寄贈	赤戯幸コレクション
15490	-2023	色絵椿文皿	1		有田	1650 年代	21. 1	2. 9	11. 7	寄贈	赤戯幸コレクション
15491	-2023	色絵花卉文台皿	1		有田	1650 年代	22. 0	6.8	11. 5	寄贈	赤戯幸コレクション
15489	-2023	色絵牡丹文大皿	1		有田	1650 年代	33. 8	7. 8	15. 5	寄贈	赤戯幸コレクション
15492	-2023	色絵雉文角小皿	1		有田	1650~1660 年代	14. 8×10. 0	2. 5	10. 5×6. 3	寄贈	赤戯幸コレクション
						1650~1660 年代	13. 0×12. 0	2. 9	7. 4×6. 4	寄贈	赤戯幸コレクション
15493	-2023	色絵鳥文角小皿	1		有田						
15494	-2023	銹瑠璃釉掛分丸文小皿	1	肥前		1650~1660 年代	14.5	2. 7	8. 7	寄贈	赤戯幸コレクション
15495	-2023	色絵菊鳥文大皿	1	肥前		1655~1660 年代	34. 1	7. 0	15. 5	寄贈	赤戯幸コレクション
15496	-2023	色絵蔦文大皿	1	肥前	有田	1655~1660 年代	33. 3	7. 4	16. 9	寄贈	赤戯幸コレクション

収蔵	番号	資料名	点数	生産地/製作者	年代	口径	高さ	底径		館蔵寄贈
15497	-2023	色絵柏文大皿	1	肥前 有田	1655~1660 年代	34. 3	6.8	18. 6	寄贈	赤戯幸コレクション
15508	-2023	白磁葉文葉形手塩皿	2	肥前	1640~1650 年代	10.6×8.5	2. 1	7. 4× 5. 4	寄贈	百溪正明氏寄贈
15512	-2023	染付蓮葉鷺文変形皿	9	肥前 有田	1650~1660 年代	16. 4	4. 3	9. 0	寄贈	佐賀古澤家寄贈
033. 古	伊万里	・寛文様式]								
15498	-2023	薄瑠璃釉染付鷺文変形	1	肥前 有田	1655~1660 年代	16. 3× 12. 2	2. 4	9. 8× 5. 6	寄贈	赤戯幸コレクション
15499	-2023	──── 青磁瑠璃釉菊文変形皿	1	肥前 有田	1655~1660 年代	16. 4× 12. 4	3. 1	9. 0× 5. 9	寄贈	赤戯幸コレクション
034. 古	伊万里	・延宝様式]								
15500	-2023	青磁龍文輪花皿	1	肥前 有田	1670~1690 年代	16. 4	3.8	9. 0	寄贈	赤戯幸コレクション
035. 古	伊万里	元禄様式]								
15501	-2023	色絵菊文小皿	1	肥前 有田	1690~1710 年代	13. 3	2. 8	5. 9	寄贈	赤戯幸コレクション
15464	-2023	青磁菊花形皿	1	肥前 有田	1730~1750 年代	28. 5	5. 1	12. 5	寄贈	仲谷昭子氏寄贈
15513	-2023	染付牡丹唐草文大皿	1	肥前 有田	1690~1720	54. 8	10. 2	27. 0	寄贈	佐賀古澤家寄贈
[041. 柿	i右衛門相	兼式]								
15462	-2023	色絵花卉文八角小鉢	1	肥前 有田 南川原山	1670~1690 年代	10. 4× 10. 6	6. 4	5.8	寄贈	香月健一氏寄贈
051. 鉧	島藩窯村	· 兼式]								
15502	-2023	色絵紗綾形文葉形皿	1	肥前 有田岩谷川内	1650 年代	16. 4× 11. 6	2. 9	9. 6× 6. 4	寄贈	赤戯幸コレクション
15503	-2023	色絵花文瓜形小皿	1	肥前 有田 岩谷川内	1650 年代	14. 6× 11. 4	2. 6	8. 2× 5. 9	寄贈	赤戯幸コレクション
15504	-2023	色絵菊七宝文変形皿	1	肥前鍋島藩窯	1660~1670 年代	16. 0× 13. 3	3. 7	6. 8× 8. 9	寄贈	赤戯幸コレクション
15505	-2023	色絵牡丹文花形皿	1	肥前鍋島藩窯	1670~1690 年代	17.6× 11.6	3. 7	5. 3× 9. 5	寄贈	赤戯幸コレクション
15506	-2023	色絵椿繋文小皿	1	肥前 鍋島藩窯	1670~1690 年代	15. 1	4. 1	7. 8	寄贈	赤戯幸コレクション
15507	-2023	色絵桜樹文猪口	1	肥前鍋島藩窯	1700~1730 年代	8. 1	6. 1	3. 6	寄贈	赤戯幸コレクション
15515	-2023	青磁角花生	1	肥前 大川内	18 世紀	35. 0× 35. 0	22. 2	11. 2× 11. 6	寄贈	佐賀古澤家寄贈
15518	-2023	染付松竹梅文壺	1	鍋島藩窯か 肥前 大川内 鍋島藩窯	1780~19 世紀初	20.8	49. 0	19. 0	寄贈	佐賀古澤家寄贈
15516	-2023	染付若松文八角皿	9	肥前 大川内 鍋島藩窯	1720~1740 年代	20. 2	4.8	11. 0	寄贈	佐賀古澤家寄贈
15517	-2023	染付楼閣山水文角皿	15	肥前 大川内 鍋島藩窯	1770~1810 年代	14. 8× 14. 8	3. 4	9. 4	寄贈	佐賀古澤家寄贈
15514	-2023	染付霞文三足皿	1	肥前 大川内 鍋島藩窯	1670~1690 年	15. 4	4. 3	高台径 8.6 足間	寄贈	佐賀古澤家寄贈
15519	-2023	染付蔦文木瓜形小皿	5	肥前 大川内 鍋島藩窯	1780~1810 年代	13. 1× 12. 1	3. 9	8. 6 6. 6	購入	九州陶磁文化館
060. 長	・崎の陶碩			SISTED IN THE						
15461	-2023	染付桜花文瓶掛・急須	1	肥前 三川内	18 世紀後半~ 19 世紀初頭	瓶掛 17.2 瓶掛胴径 21.0	瓶掛13.6 急須 9.7	瓶掛足 間 7.5 急須 6.3	寄贈	寺﨑恵美子氏寄贈
130. 佐	賀県 泊	近代]								
15509	-2023	染付兎花鳥文把手付碗 皿	1	佐賀県(肥前) 有田 田代(素 地は三川内)	1870~1880 年代	碗長径 7.7 碗5.9	碗 5. 2 皿 2. 5	碗 3.9 皿 4.5	寄贈	山口裕也氏 寄贈
15510	-2023	色絵蓮花鳥文碗皿	3	佐賀県(肥前) 有田 深川 山嘉	1870~1880 年代	皿 10.6 山嘉銘碗 5.0 銘なし碗 5.0 皿 10.7	山嘉銘碗 5.3 銘なし碗 5.0 皿 1.4	山嘉銘 碗2.5 銘なし 碗2.5 皿6.3	寄贈	山口裕也氏 寄贈
230. 佐	:賀県]					· ·				
15463	-2023	天目線文彫鉢	1	澤山大亮(1980 ~)	令和5年(2023年)	40.8	26. 3	10. 3	寄贈	澤山大亮氏寄贈
260. 福	岡県]									
15520	-2023	中野月白瓷壺	1	福島善三(1959 ~) 重要無形 文化財保持者	2022 年	21. 5× 22. 5	24. 1	16. 5	購入	九州陶磁文化館

ļ		購入件数	購入点数	寄贈件数	寄贈点数	管理換件数	管理換点数	総件数	総点数
昭和	53	0	0	0	0	12	16	12	16
昭和	54	0	0	0	0	37	66	37	66
昭和	55	47	57	4	5	0	0	51	62
昭和	56	38	55	12	19	0	0	50	74
昭和	57	37	45	129	492	0	0	166	537
昭和	58	66	112	43	79	4	4	113	195
昭和	59	109	168	18	19	1	1	128	188
昭和	60	57	79	20	21	3	3	80	103
昭和	61	30	57	13	20	0	0	43	77
昭和	62	30	47	18	25	0	0	48	72
昭和	63	40	58	58	84	0	0	98	142
平成	1	37	60	21	30	1	1	59	91
平成	2	33	46	1,090	2,491	1	1	1,124	2,538
平成	3	47	134	241	359	1	1	289	494
平成	4	8	16	336	646	1	1	345	663
平成	5	14	18	27	40	0	0	41	58
平成	6	10	10	572	1,514	1	1	583	1,525
平成	7	19	19	211	598	1	1	231	618
平成	8	5	5	759	1,788	1	1	765	1,794
平成	9	8	18	300	526	1	1	309	545
平成	10	35	35	272	563	12	12	319	610
平成	11	25	46	284	797	84	85	393	928
平成	12	1	1	172	386	0	0	173	387
平成	13	9	9	194	480	0	0	203	489
平成	14	4	5	632	1,304	0	0	636	1,309
平成	15	6	6	329	813	0	0	335	819
平成	16	14	14	59	65	0	0	73	79
平成	17	5	9	69	75	0	0	74	84
平成	18	9	9	574	1,775	0	0	583	1,784
平成	19	6	6	47	64	0	0	53	70
平成	20	0	0	415	695	0	0	415	695
平成	21	0	0	512	1,030	0	0	512	1,030
平成	22	0	0	222	281	0	0	222	281
平成	23	0	0	3,652	4,818	0	0	3,652	4,818
平成	24	0	0	200	250	0	0	200	250
平成	25	3	3	30	59	1	1	34	63
平成	26	0	0	223	249	0	0	223	249
平成	27	1	1	678	1,089	0	0	679	1,090
平成	28	2	2	21	43	0	0	23	45
平成	29	3	3	618	637	1	18	622	658
平成	30	1	1	165	177	0	0	166	178
令和	1(2019)	3	231	1,122	2,934	0	0	1,125	3,165
令和	2(2020)	3	5	3	3	2	2	8	10
令和	3(2021)	0	0	5	5	0	0	5	5
令和	4(2022)	0	0	159	179	0	0	159	179
令和	5(2023)	2	6	58	95	0	0	60	101
合計	5 (2020)	767	1,396	14,587	27,622	165	216	15,519	29,234

発 行 日 令和6年(2024年)8月1日編集・発行 佐賀県立九州陶磁文化館

₹844-8585

佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1

TEL 0955-43-3681

FAX 0955-43-3324

https://saga-museum.jp/ceramic/
E-mail: kyuto@pref.saga.lg.jp



